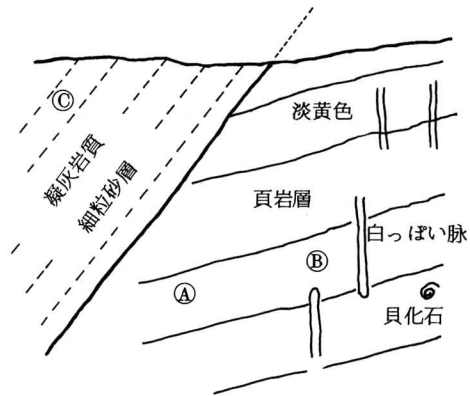


- ③ 学校の裏山は、これらの地層が重なり合って、できていることを理解する。
- ④ 北側の崖から東側の崖へと地層を追いかけて、地層の広がり理解する。
- (3) 地層に近づいて観察する。



④層は、断層の右側から東側の崖にかけて見られる淡黄色の頁岩層で、風化すると、表面が

うすく、はがれる性質をもっています。くずれた頁岩を、ハンマーでたたくと、中に1cm大の二枚貝の化石が入っている場合があります。また、この地層は、うすい凝灰岩層を何枚もはさんでいます。

化石を探してみよう。

⑤層は、白っぽい粘土で、垂直に④の層と交わるようにして入っています。これは、たい積性の岩脈で、大変めずらしい現象で、地層の割れ目に粘土がつもってできたものです。

⑥層は、黄色をした砂岩層です。指の感触は砂とやや異なって、粘土が混ざったような感じがします。それは、火山灰が混ざったからで、くわしくは、凝灰岩質細粒砂岩層です。

④層と層理が斜交していることに注意しましょう。

⑦は、地面の大きな割れ目で、この割れ目に沿って上にあった⑥層が、ずれて、落ちてきたと考えて下さい。このような大きな割れ目を断層と言います。

## 永 崎 小 学 校

### 1. 地層の観察

- (1) 観察する場所